



# 雪谷の清流

平成30年8月 22日発行  
岩手県立軽米高等学校通信 25号  
文責:副校長 松場 喜美夫

## 夏季休業明け授業始め式

8月17日(金) 視聴覚室

お盆中から天気が崩れ、16日には洪水警報も発令されるなど、少し落ち着かない空模様でしたが、8月17日(金)、授業始め式を行い、授業がスタートしました。

校長講話では、次のようなお話がありました。

今年は何年にもない暑い夏、また、度々の水害に悩まされました。皆さんは、体調を崩すことなく夏休みの目標を達成できたでしょうか。3年生は、お盆前まで進路の取り組みで登校していました。就職希望の人は、志望先を決めて、企業訪問や一般教養や面接の準備、対策したでしょう。公務員希望者は、現役合格プロジェクトに従って様々な学習の場を活用したと思います。進学希望者は、夏季課外に手応えを感じたでしょうか。まず、9月16日が就職試験の解禁日となります。

7月下旬、地方新聞の記者となった教え子の結婚式に呼ばれました。小学校からサッカーを続け、高校時代は駅伝にも出場していました。高校卒業後は、北海道の教員養成系の大学に進学しました。披露宴に集まった大学の友人たちから、彼が学業ばかりでなく、学生会活動、部活動、作詞作曲を含めてバンド活動もしていたことを伺いました。さらに、北海道の大自然を楽しみたいとバイクの免許を取ってツーリング。家庭教師のアルバイト、地域行事のボランティア活動など、彼曰く「たくさんの挑戦」をしたのだそうです。それは、「自分探し」であったそうです。自ずと友人が増え、彼の周りにはいつも友人で一杯だったそうです。友人たちのスピーチから、彼の「挑戦」が、自分らしい生き方を見つけるために、自然や人と関わり、学問や芸術からの学びに、常に全力であったと感じました。彼は、結婚ということとは別に、自分の仕事や生き方を考えたとき「毎日幸せを感じています」と言っていました。その言葉から彼は大学に行って、いい勉強をしてきたのだと確信しました。教育学部だから教員ではなく、新聞記者という自分の仕事を見つけた。

人には、様々な困難や苦勞がつきまといきます。思うようにいかないこともたくさんあります。その時に、いかにマイナス面を少なくして、プラス面を多くするか、それが、良い生き方をしていくコツだと思います。プラス思考、ポジティブ、切り替え、成りたいものについてのイメージを持つなどです。

軽米高校も生徒数が少なくなり、マイナス面が強調されることが多いですが、それも、考え方次第と言えます。先生とたくさん話しかける。発表や活躍するチャンスがたくさんあるなど、考え方一つで大きな魅力になると思います。

10月には周年事業の記念式典があります。皆さんが、新たな歴史を創造する主人公です。平成30年度後期の躍進と輝きを期待します。楽しみにしています。

## 賞状伝達式

夏季休業中の各種大会での入賞者に賞状が伝達されました。被表彰者は次のとおりです。

- 【陸上競技部】第70回岩手県民体育大会
  - 9部女子砲丸投 第1位 久保 美乃(2-2)
  - 9部女子ハンマー投 第1位 久保 美乃(2-2)
  - 10部女子2000m障害 第1位 瀧澤 愛華(1-1)
  - 3部男子5000m競歩 第3位 古川 直人(2-2)
  - 4部男子ハンマー投 第3位 一條 僚佑(1-1)

【吹奏楽部】全日本吹奏楽コンクール第56回岩手県大会並びに第41回岩手県高等学校総合文化祭吹奏楽の部 高等学校小編成の部 銀賞

【家庭科】第9回高校生「調理・製菓」コンテスト 製菓の部 奨励賞 外食産業賞 内澤 乃愛(3-1)



## 先輩が語る会 8月17日(金) 1学年総合的な学習の時間



1学年は、2年次のコース選択に向けて、管内の企業訪問ツアーや大学のオープンキャンパスなどの行事を行ってきました。8月17日(金)には、軽米高校の先輩方が卒業後どのように働いているか、または、学校で勉強しているか、先輩本人から伺って、進路決定に役立てるため、「先輩が語る会」を企画しました。以下、簡単に内容を紹介いたします。

【梅木 志歩さん(H29.3卒 小松製菓)】

- ・準備としては、履歴書作成(下書き~清書:多い人で10枚くらい書いた人もいました)、小論文対策(過去の試験を探して演習)、面接対策(担当の先生+担当外の先生を見つけて)をしました。
- ・現在の職場では、3か所の部署を経験。自分より年上の方に教えることが難しい。
- ・社会人は給料をもらって、会社のため、地域のために働く。高校生までとは違う。

【田代 愛翔さん(H29.3卒 二戸高等看護学校)】

- ・進路決定は遅かった。高校3年生の春。
- ・看護師を目指す道は大学もあるが、高卒の良いところは学年が35人と少人数なところ。先生方に丁寧にしてもらえる。また、大学より早く卒業できる。しかし、1年生から実習があり、すぐに就職活動が始まる。
- ・推薦で入学すると、一般受験よりも下に見られているように思う。しっかり勉強してくる。

【園田 大地さん(H30.3卒 岩手県職員)】

- ・公務員を4つ受験。
- ・受験に向けて大切なことは、期限までに提出物を出すこと。
- ・公務員希望者は、Bコースを選択した方が良いと思う。
- ・限られた時間を上手く使って頑張れ。

【山仁 隆司さん(H29.3卒 弘前大学)】

- ・学校での宿題は、先生方がこれまでの経験をもとに考えられたものである。しっかりと取り組むこと。
- ・テストや模擬試験は、普段の授業の延長線上にある。授業をきちんと受ける。
- ・文系だから理系はできなくて良いということはない。他の文系志望者も理系を苦手としているのだから、敢えて苦手の理系を克服するとチャンスが広がる。

- ・自分たちが相手にしているのは、自分たちよりもっと部活動も強くてもっと勉強している進学校の受験生。だから、軽高もそれに負けないように、部活動も勉強も頑張りたい。

【中里 悠吾さん(H29.3卒 秋田県立大学)】

- ・文系理系選択では、何に興味があるかが大切。
- ・理系科目はとにかく問題を解くこと。
- ・今やっている勉強をしっかりやること。

【小笠原 理恵さん(H29.3卒 岩手県立大学)】

- ・高校生活と大学生生活の違いをクイズ形式で紹介
- ・大学生は、授業の無い時間帯や長期休業を利用して、サークル活動やボランティア活動に励むことができる。
- ・他の先輩も言っていたが、課題の提出など普段から当たり前のことを当たり前に行うことが大切。
- また、当初参加予定であった工藤悠雅さん(H29.3卒 仙台大学)からもアドバイスをいただきました。

- ・何となく理系を選び、数学Ⅲや物理を選択し、失敗した。
- ・厳しい練習をするクラブに転部し、一層勉強も頑張れた。
- ・どんなことも逃げずに頑張りたい。

- 最後に、高校時代の何が今役に立っていますかとの質問に次のように回答してくれました。
  - ・諦めないこと。 ・礼儀・言葉づかい。 ・提出物の期限を守る。 ・規則正しい生活。
  - ・部活動での体力。 ・最後までやり抜くという姿勢。 ・集中力。 ・身だしなみ。 ・挨拶
  - ・高校時代、人前に立つことが多かったこと。(人数の多い学校の出身者は苦勞している)お忙しいところ、お話しをいただきありがとうございました。